

## 4. 検討事業の内容

### 事業 1 歴史資源の発掘、再生による集客拠点づくり

#### ① 小倉城・小倉城庭園の展示などのリニューアル

小倉城と小倉城庭園の施設や展示内容を更新し、集客力の強化を図る。さらに来訪者へのおもてなし機能の充実や、北九州市ならではの技術・先進性と伝統文化の融合、ロボットの活用などを検討する。小倉城庭園では、展示スペースの企画内容等の充実を図る。

#### ② 着見櫓の活用

小倉城天守閣横にある着見櫓<sup>つきみやぐら</sup>について、小倉祇園太鼓の体験施設や団体客の休憩スペース、イベント時の待機・更衣室など、今後の施設の利活用やそのあり方等について検討する。

#### ③ 地元ゆかりの歴史上人物の掘り起し（宮本武蔵、佐々木小次郎など）

地元ゆかりの歴史上の著名人にスポットを当て、集客のための観光コンテンツとして、情報発信する。特に、宮本武蔵や佐々木小次郎に光をあて、小倉との関わりについての解説パネルや像などの設置を行う。

#### ④ 小倉城大手門などの復元の検討

天守閣と並び小倉城のシンボルとして、「大手門」などの城門の復元を検討する。これにより歴史を後世へ伝承するとともに、新たな魅力づくりと入城動線の強化を図る、あわせて小倉城に関連する絵図等の歴史資料の収集を行い、展示資料として活用する。

### 事業 2 既存資産を活用した歴史を感じる魅力空間づくり

#### ⑤ 小倉城城内（本丸、松の丸等）の樹木等再整備

「桜の城」として名高い小倉城のブランド価値を一層高めるため、効果的な桜の植樹を行う。また、春の桜だけでなく、秋の美しい紅葉など、四季の移り変わりによって表情を変える場所づくりに取り組む。あわせて城内全体の歴史的魅力と回遊性の向上を目的として、和を意識した再整備を行う。さらに、城内に点在する石碑、野戦重砲、第十二師団司令部正門跡などについても再整備を行い、近代における小倉城の歴史なども案内板で紹介する。

#### ⑥ 小倉城庭園のリニューアル（樹木の整理や池の改修など）

小倉城庭園がもつ日本庭園としての魅力を高め、書院造りの建築とあわせて上質な和の空間を観光客に提供するため、庭園の改修と水質向上を図る。また虎の門付近への紅葉の植栽により、散策路の魅力アップとフォトスポットの強化を図る。

#### ⑦ 和風オープンカフェなど

歴史の道や三階菱横スペースなどで、オープンカフェスタイルによる飲食物の提供を行う。また、カフェ周辺の屋外 Wi-Fi 環境の整備や、にぎわいづくりのための和風雑貨のフリーマーケットなども開催する。

### ⑧ 小倉城・小倉城庭園のライトアップ

小倉城や小倉城庭園のライトアップにより、伝統的な建築物が持つ美しさや、樹木・花々の鮮やかなコントラストを引き立て、夜間の魅力的な雰囲気を出し創出する。これによりカップルのデートコースによる新たな集客や宿泊観光客などの増加へとつなげる。

## 事業3 北九州の文学と出会う空間づくり

### ⑨ 文学碑、万葉の碑など情報発信の強化

勝山公園に点在する文学碑、記念碑などの魅力向上を図るため、解説板などを設置する。また、図書館などの案内を充実するとともに、散策・回遊マップなどを作成することで、PRの強化を図る。

### ⑩ 中央図書館に新設するカフェを活用した文学の発信

新設するカフェにおいて文学に関する様々な情報を提供し、気軽に文学に触れてもらう場として活用する。また文学館などと連携した文学作品のPRや、隣接する雑木林の「四阿」<sup>あすまや</sup>との連携を図る。

### ⑪ 雑木林の活用による魅力的な空間づくり

中央図書館や文学館と松本清張記念館をつなぐ導線として、雑木林を活用し「文学」をテーマにした再整備を行う。文学作品や俳句に関連した草花の植栽とあわせ、趣のある園路や草花に関連する作品や作家の解説板、観光客や愛好家の憩いの場としての四阿<sup>あすまや</sup>なども設置する。

### ⑫ 「文学の街・北九州」の発信

小倉都心部にある史跡と文学館・松本清張記念館などを巡る文学ツアーや文学散歩コースの紹介、歩きやすいサインの整備などを実施し、各施設の魅力をストーリーとともにPRする。

### ⑬ 文学館と新設される子ども図書館との連携

子ども図書館の開設にあわせ、子どもの読書支援や、児童文学の紹介、郷土の文学に親しんでもらうための催し等を実施する。

## 事業4 にぎわい・交流拠点の整備

### ⑭ 勝山公園の民間活力によるにぎわい強化

多様な集客イベントの場として、にぎわいづくりの一翼を担う勝山公園の芝生広場において、更なるにぎわいの創出を目指して、民間活力の導入を促進していく。

### ⑮ 平和を祈念する空間の整備

原爆被害者のめい福を祈り、平和を祈念し、平和の尊さを次世代に伝えていくため、勝山公園内の平和祈念碑などを移設し、再整備を行う。

## ⑩ 水環境館のリニューアルの検討

紫川の環境学習機能を持つ水環境館において、その立地条件の良さを十分に活かせるようリニューアルを検討する。また紫川をはじめ、周辺を流れる砂津川、神嶽川、板櫃川が、小倉城の外堀としての機能を有していた歴史的役割などのPRを行うことで、小倉城との連携を図る。

## 事業5 回遊性・アクセス向上のための仕組みづくり

### 全域 紹介パネル、案内・誘導サイン、パンフレットなどの整備

総合案内パネルや案内サインを分かり易い仕様に統一し、多言語表記を充実させる。また、リバーウォーク、魚町・室町といった周辺地域との連携を強化し、主要ターミナルからの歩行者の誘導サインや小倉城への道路案内の表示も充実させる。

### ⑪ 大型団体バスの駐車スペースの整備

修学旅行や外国人等の団体客の受入れに対応するため、小倉城に近い歴史の道西側に団体バスの駐車場スペースを整備する。

### 全域 施設間の連携、回遊を生み出す仕組みづくり

楽しく移動できる工夫や、施設の共通入場券や年間パスの発行などを検討し、施設の相互利用を促進する仕組みづくりを行うことで、来訪者の回遊性の向上も図る。

## 事業6 情報発信・受入れサービスの充実

### 全域 エリア全体のPR 広報活動の強化

小倉城周辺エリアの施設の情報を、宮本武蔵や佐々木小次郎などの著名人のエピソード、映画やドラマのロケ地、サブカルチャーなどと、一体的に発信する。また、小倉城のイメージキャラクターである「とらっちゃ」の活用を強化していく。

### ⑫ 市役所本庁舎の利活用

情報ステーション機能の充実や新たなビュースポットづくりに向け、市役所本庁舎をはじめ、既存施設の利活用を検討する。

## 事業7 「北九州 小倉」ならではのおもてなしの充実と人材の育成

### 「北九州 小倉」ならではのおもてなしの充実・人材の育成

「小笠原流礼法」や「小倉織」などの紹介を行い、北九州・小倉ならではのおもてなしや文化を体験してもらう。また市民や子どもたちへの伝統の継承を通じて、次世代のおもてなし人材の育成を図る。

# 資料

## 用語解説

### ●四阿(東屋/あずまや)

庭園内に休憩や眺望のために設けられ、園亭、亭などとも呼ばれ建物としての意匠が重んじられる。

### ●インバウンド

「入ってくる、内向きの」という意味の形容詞。観光用語では、外から入ってくる旅行、一般的に訪日外国人旅行を指す。海外旅行はアウトバウンドという。

### ●御留流(おとめりゅう)

江戸時代に1つの藩でのみ伝承され、他流の者に稽古を見せることを藩より禁じられたとされる武術の流派のこと。

### ●懸造り(かけづくり)

崖や池などの上に建物を長い柱と貫で固定し、床下を支える建築方法。  
崖造(かけづくり)ともいう。

### ●九州探題(きゅうしゅうたんだい)

室町幕府が九州地方の統轄のためにおいた職名。鎌倉幕府の鎮西探題にならったもの。  
1336年、足利尊氏が南朝勢力制圧のため一色範氏をこれに任じたのに始まる。

### ●サブカルチャー

主流の文化に対する少数派に支持されている娯楽・趣味文化のこと。  
漫画、アニメ、特撮、ゲームなどを指すことが多い。

### ●シビックプライド

まちに対する誇りや愛着のこと。その場所を良い場所にするために自分自身が何らかの関わりを持っていくという当事者意識を伴う。

### ●下屋敷(しもやしき/したやしき)

江戸時代の大名の別邸。

### ●造兵廠(ぞうへいしょう)

旧日本陸海軍の兵器・火薬その他の軍需品の研究・製造・修理などを担当した工場とそれを統括した機関の総称。

### ●池泉回遊式庭園(ちせんかいゆうしきていえん)

江戸時代を代表する日本庭園の形式のひとつ。中心に池を設け、その周囲の園路を巡りながら鑑賞する庭園。

### ●呈茶(ていちゃ)

客人にもてなしのお茶を差し上げること。

### ●ホスピタリティ

「心からのおもてなし」「思いやり」。客人を親切にあたたくもてなす気持ちや行動。

### ●流鏑馬(やぶさめ)

走る馬に乗り、鏑矢(かぶらや)で三つの的を射る射技。現代では神事として残る。

### ●レファレンスサービス

図書館利用者の質問に対して、求められている情報や資料を提供、提示して援助する図書館のサービス。

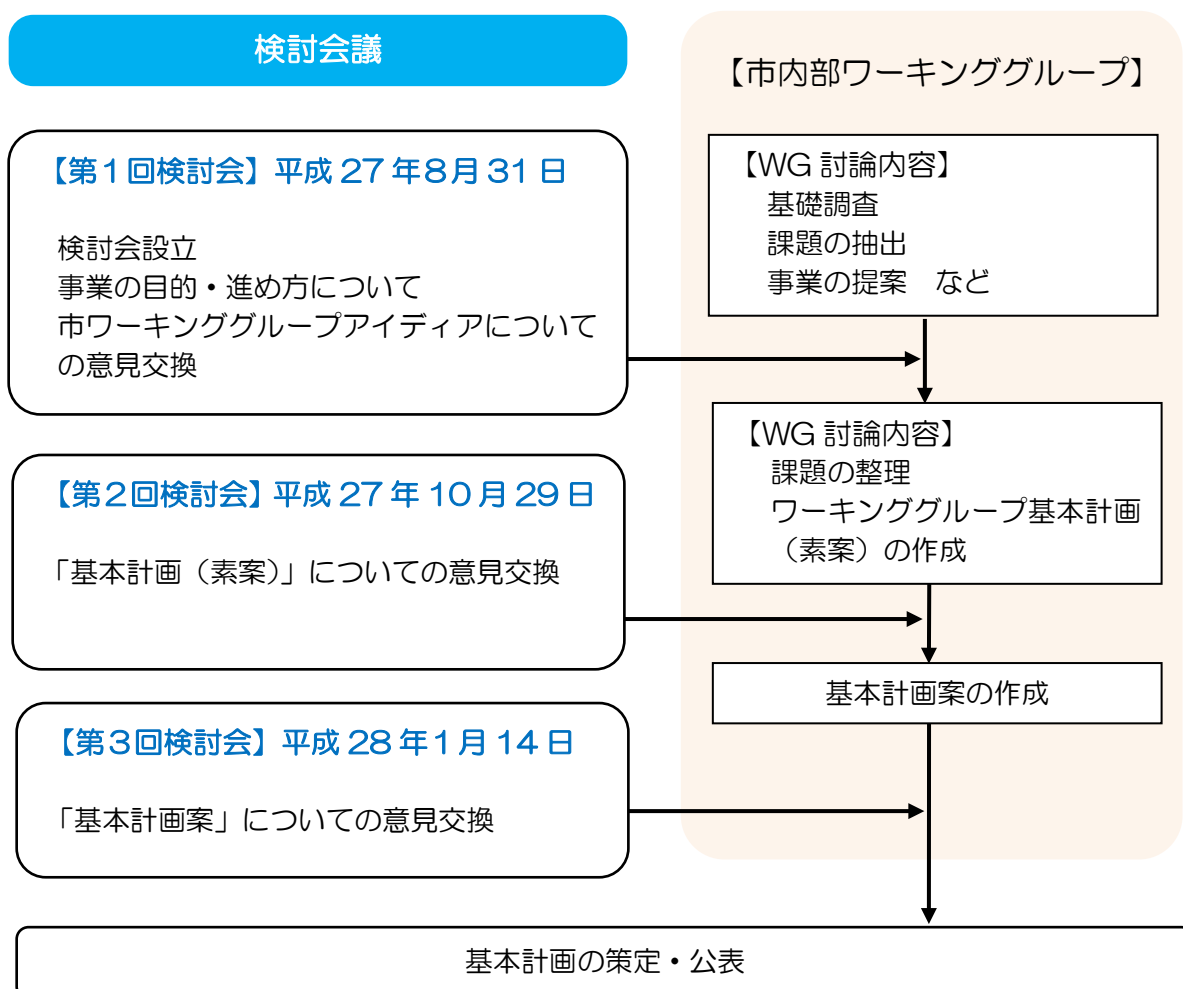
## 小倉城周辺魅力向上事業基本計画検討会 委員名簿

氏 名	役 職
内田 恵里子	西日本工業大学デザイン学部 講師
後藤 みな子	北九州文学協会 会長
佐藤 由美子	日本航空(株)北九州空港 所長
篠崎 和敏	日本旅行業協会九州支部北九州地区 委員長
津村 卓	北九州芸術劇場 顧問
樋上 弥寿子	小倉中央ロータリークラブ 元会長
福島 規子	九州国際大学 国際関係学部 教授
松尾 孝治	北九州青年会議所 元理事長

(敬称略・五十音順)

## 計画策定の経緯

検討会議・ワーキンググループ開催スケジュール



# 小倉城周辺魅力向上事業基本計画

平成28年2月

北九州市 産業経済局 観光にぎわい部 観光課

住 所:〒802-0001

北九州市小倉北区浅野 3-8-1 AIMビル 4階

電 話:(093) 551-8150 FAX:(093) 551-8151